

I 事業期間 2019 年 6 月 1 日 ～ 2020 年 5 月 31 日

II 事業の成果

1. 街路樹剪定枝葉の有効利用の推進

公園の緑化樹や街路樹などの剪定枝葉は毎年大量に焼却処分されている未利用資源ですが、剪定枝葉を分別せずに資源化する従来の方法では用途が限られるために需要が伸びないという問題があります。剪定枝葉を枝と葉に分別すれば、枝はそのままマルチング材に利用できるほか、パルプや木炭などの原料、バイオマス発電のための燃料として利用できます。一方、葉（生葉）は土壌改良材だけでなく、植物栽培用の培地にも利用できます。

当法人は継続的な技術指導、研究機関との共同研究や主要技術の特許化を推進するとともに、国土交通省や自治体、民間企業への技術の普及を図る活動を行っています。また、国道 43 号クスノキ街路樹の剪定枝を利用した「国道 43 号名刺」は当法人の役員のほか公益財団法人公害地域再生センター（あおぞら財団・大阪市西淀川区）などでも使われています。

これら一連の技術は 2006 年に国道 43 号の西宮市内の一部区間において試験導入され有効性が実証されたことから、尼崎～神戸間のすべてのクスノキを対象に本格導入される見込みでしたが、道路特定財源の使途見直しにより計画が中止になりました。その後、国土交通省

にて全国規模での適用が検討されていましたが、国の政権交代とともに立ち消えとなりました。さらに、大阪府吹田市においても導入が内定していましたが、市長の交代により延期された状態が続いています。また、ある大手住宅関連会社との業務提携による事業化も検討されました。いずれも技術的な価値とは関係のない理由で実現していませんが、当法人は技術を紹介するウェブサイト进行管理などの活動を続けています。



国道43号エコ情報ニュース「よんさん」(2007年6月号)

[参考] 有限会社マッテル <http://matteru.com/>

2. 「高等独文解釈」のウェブサイト公開 <http://dgcbase.jp/deutsche/>

上級者向け独文読解のためのサイト「高等独文解釈」は大阪大学名誉教授（故人）が独文解釈用に収集した文章とその和訳の遺稿を試行的にウェブ公開するものです。この遺稿は当初は参考書として出版されるためにまとめられましたが、一般の学生にはやや難解であることから出版が見送られていました。しかし、当時とは異なり現在はインターネットを利用して手軽に発信できます。そこで、ウェブサイトにて試行的に 124 題を無料公開しました。ドイツ文学の学生のみならず一般の愛好家の方々にも広く読まれることを期待しています。

3. 電子ジャーナル「土壌植物栄養研究」 <http://dgcbase.jp/wjsspn/>

土壌・植物栄養分野の研究は、結果が得られるまでに年単位の時間を要することがよくあります。しかし、都道府県農業試験場では近年この分野の研究者が少なくなりつつあり、異動も常態化しているため、数年にわたる息の長い研究を行うことが難しくなっています。一方、継続的な研究ができるはずの大学では研究分野が細分化されて学際的で多様な議論の場が減り、地域に根ざした試験も実施しづらくなっているようです。この分野における地道な調査や研究の成果はこれまで農業生産や環境保全に大きく貢献してきましたが、今後もその重要性は揺るがないでしょう。

電子ジャーナル「土壌植物栄養研究」は、土壌・植物栄養分野の中でも生産現場に近い調査・研究情報を迅速かつ十分な精度で提供するために開設されました。今後も、農業試験場や大学の研究者が充実した成果を即座に発表するための場として活用され、さらに農業生産の向上や環境保全に生かされることを期待しています。

4. 近畿土壌医の会



兵庫県淡路農業技術センター見学
(2019年11月27日)

「近畿土壌医の会」(会長：間藤徹・京都大学名誉教授)は全国各地域の「土壌医の会」と連携して、土づくりに関する知識や技術の維持・向上と指導力の一層の強化を図るため、近畿地域における会員相互の研鑽と交流を深めるとともに、会員の情報ネットワーク等を通じ現場の土づくりに関する課題解決力を高めていくことを目的としています。2019年3月に設立され、当法人が事務局を担当しています。同年11月26日・27日、兵庫県淡路島にて研修会を開催しました。

[参考] 近畿土壌医の会

<https://www.facebook.com/pages/category/Agriculture/近畿土壌医の会-3181088641916511/>

http://www.japan-soil.net/doiken/info_area201904.pdf#page30

5. 会員による科学普及活動～内山代表理事編

大阪府立環境農林水産総合研究所農業大学校(羽曳野市尺度)における「土壌肥料」の講義を内山代表理事が担当しています。当期中に14回の講義を実施しました。

また、2019年8月22日、南河内地域でいちご栽培を始める新規就農者を対象とした「いちごアカデミー」(実施主体：南河内いちごの楽園プロジェクト推進会議)の一講座として「いちご栽培における土づくり及び肥料の基礎知識」について講義しました。同年10月30日には、和歌山県・和歌山県肥料協会主催の「土づくり研修会」にて「施設園芸から土づくりを考える ― イチゴ畑に土づくりは必要か?」と題して講演しました。さらに、農林水産省の「意欲ある農業者を対象にした土づくりセミナーの実施業務」(2019年10月2日公示)に関連して以下の講演(7回)を担当しました。

- (1) 「ブドウ園の土づくりを考える」

- 2019年11月8日、岡山県立青少年農林文化センター三徳園（岡山県東区竹原 505）
- (2) 「緑肥を活かした土づくり」
- 2019年12月19日、やしろ国際学習塾（兵庫県加東市上三草 1175）
- (3) 「年の初めに土づくりの基本を再確認」
- 2020年1月6日、JAめぐみのかも営農経済センター（岐阜県美濃加茂市平町 3-16）
- (4) 「物理性から見た土づくり」
- 2020年1月20日、橋本市役所北別館（和歌山県橋本市東家 1-6）
- (5) 「樹園地の土づくり」
- 2020年1月22日、和歌山県果樹試験場（和歌山県有田郡有田川町奥 751-1）
- (6) 「これからの土づくりの視点」
- 2020年1月30日、道の駅みやま公園直売所研究室（岡山県玉野市田井 2-4464）
- (7) 「マサ土の不思議と土づくり」
- 2020年2月4日、京都府農林水産技術センター丹後研究所（京丹後市弥栄町黒部 488）
- [参考] 「いちごアカデミー」の第2期生を募集します！（大阪府環境農林水産部）
- http://www.pref.osaka.lg.jp/minamikawachinm/m_index/f_ichigoacademydai2.html
- ぶどう初心者講座「土づくり研修会」（岡山県備前広域農業普及指導センター）
- <https://www.pref.okayama.jp/page/636257.html>

6. 会員による科学普及活動～森川理事編

石川県政記念しいのき迎賓館（金沢市広坂）の新春企画展「木工・木彫・和傘の世界 — 和傘をめぐる OTOKOTACHI part5」（2020年1月5日～13日）は、金沢和傘と金沢仏壇を



顕微鏡によるカビや和紙繊維の観察

中心とした伝統工芸の実演に加え、一点ものの木工家具や能登ヒバを扱った新製品の展示など行う恒例のイベントです。森川理事が「流しの顕微鏡士」として「やっぱり黴（カビ）はいいね！」を担当。和傘に用いる和紙の繊維を顕微鏡で観察したり、小さな水引や偏光板を使った万華鏡を作成するワークショップを行いました。期間中1,000名を超える来場者がありました。

[参考] しいのき企画展「木工・木彫・和傘の世界 — 和傘をめぐる OTOKOTACHI part5」

<http://www.shiinoki-geihinkan.jp/event/index.cgi?mode=pickup&ctg=gly&cord=459>
http://www.kanazawabiyori.com/event/event_26066.html

7. 研究者集団につながる窓口の運営 <http://dgcbase.jp/>

事務局やウェブサイトでは、学際的な共同研究、社学連携による研究開発やイベントの企画立案などについての問い合わせを随時受け付けています。研究者集団への相談窓口としての役割に留まらず、科学的で俯瞰的な現状認識に基づいたコンサルティングを行っています。

Ⅲ 事業の実施状況

1. 特定非営利活動に係る事業

(1) 産官学民連携推進事業（一般会計）

- 【内 容】 産官学民連携事業の企画および支援
- 【実施場所】 当法人事務局（豊中市曾根東町 1-5-13）
- 【実施日時】 随時
- 【対 象 者】 一般希望者
- 【収 入】 12,960 円
- 【支 出】 9,934 円

(2) 科学普及啓発事業（一般会計）

- 【内 容】 「高等独文解釈」のウェブサイト公開
- 【実施場所】 当法人事務局（豊中市曾根東町 1-5-13）
- 【実施日時】 常時
- 【対 象 者】 ドイツ文学の学生および一般愛好家
- 【収 入】 0 円
- 【支 出】 8,336 円

- 【内 容】 電子ジャーナル「土壌植物栄養研究」の運営
- 【実施場所】 当法人事務局（豊中市曾根東町 1-5-13）
- 【実施日時】 常時
- 【対 象 者】 土壌・植物栄養分野の研究者
- 【収 入】 0 円
- 【支 出】 8,336 円

- 【内 容】 「近畿土壌医の会」の事務局
- 【実施場所】 当法人事務局（豊中市曾根東町 1-5-13）
- 【実施日時】 随時
- 【対 象 者】 「近畿土壌医の会」会員
- 【収 入】 0 円
- 【支 出】 8,336 円

- 【内 容】 会員による科学普及活動～内山代表理事編（農業大学校の講義）
- 【実施場所】 大阪府立環境農林水産総合研究所農業大学校（羽曳野市尺度 442）
- 【実施日時】 2019年6月5日～2020年2月12日（計14回）
- 【対 象 者】 農業大学校受講者
- 【収 入】 218,400 円
- 【支 出】 174,720 円

- 【内 容】 会員による科学普及活動～内山代表理事編（いちごアカデミーの講義）

【実施場所】 大阪府南河内府民センター（富田林市寿町 2-6-1）

【実施日時】 2019年8月22日

【対象者】 「いちごアカデミー」第2期受講生ほか（32名）

【収入】 13,770円

【支出】 0円

【内容】 会員による科学普及活動～内山代表理事編（土づくり研修会の講演）

【実施場所】 和歌山県民文化会館（和歌山市小松原通 1-1）

【実施日時】 2019年10月30日

【対象者】 和歌山県内の営農指導関係者（60名）

【収入】 30,000円

【支出】 0円

【内容】 会員による科学普及活動～内山代表理事編（土づくりセミナーの講演）

【実施場所】 上記「事業の成果」参照

【実施日時】 上記「事業の成果」参照

【対象者】 意欲ある農業者

【収入】 139,600円

【支出】 0円

【内容】 会員による科学普及活動～森川理事編

【実施場所】 石川県政記念しいのき迎賓館（金沢市広坂 2-1-1）

【実施日時】 2020年1月5日～13日

【対象者】 一般来場者

【収入】 0円

【支出】 0円

IV 社員総会の開催状況

1. 定時総会

【開催日時】 2019年8月17日、16時～17時30分

【開催場所】 当法人事務局（豊中市曾根東町 1-5-13）

【出席者数】 正会員9名（正会員総数20名）

【議案】 第1号議案 2019年5月期事業報告及び活動決算の承認の件
第2号議案 次期役員を選任の件

【審議結果】 第1号議案は、満場異議無く承認可決した。

第2号議案は、各立候補者が満場一致をもって選任された。

V 理事会その他の役員会の開催状況

1. 理事会

【開催日時】 2019年7月22日

【開催場所】 インターネット上（役員メーリングリスト上にて実施）

【出席者数】 理事3名（理事総数3名）、監事1名

【議案】 第1号議案 事業報告書案および決算報告書案の承認の件

【審議結果】 第1号議案は、満場異議なく原案通り承認した。

【開催日時】 2019年8月17日、17時30分

【開催場所】 当法人事務局（大阪府豊中市曾根東町1-5-13）

【出席者数】 理事3名（理事総数3名）

【議案】 次期代表理事および次期副代表理事の選定

【審議結果】 理事全員の互選の結果、いずれも現職が再選された。

以上